



敦賀港

トライアル制度活用事例紹介 【外貿編】

令和6年度

株式会社オーディオテクニカフクイ

スピーカーの輸入で敦賀港をトライアル利用

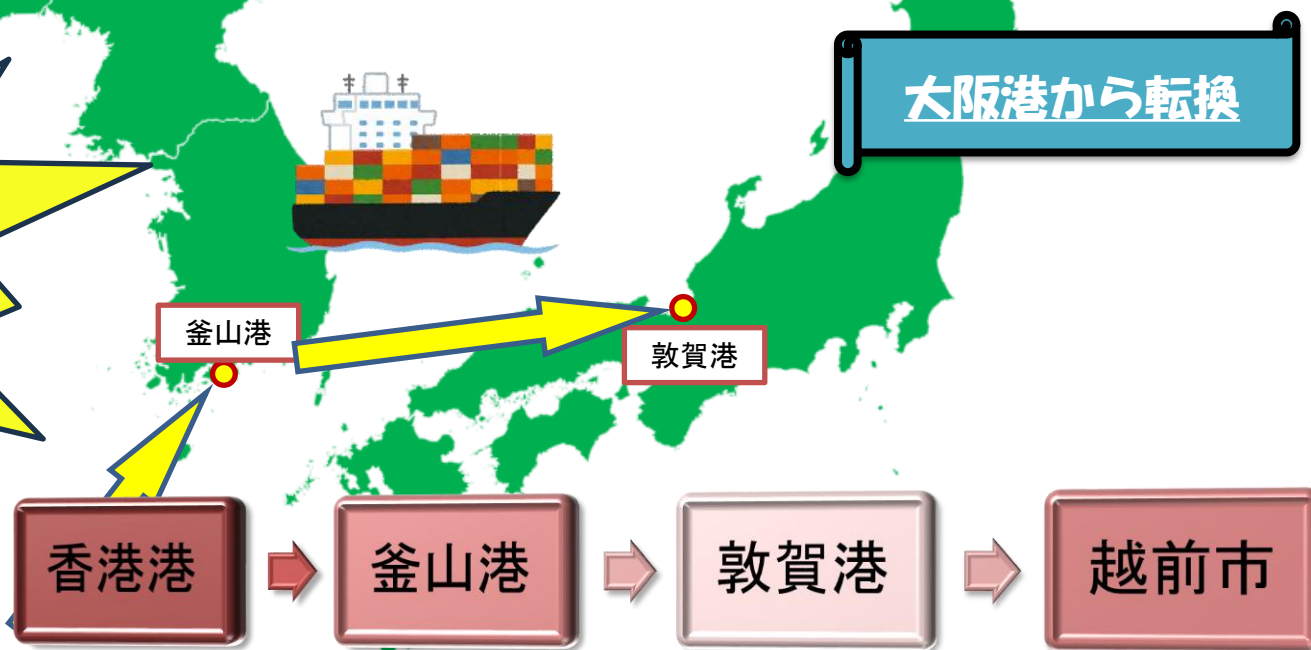
トライアル実施企業からの
コメント

- これまで大阪港から輸入してものを敦賀港に転換
- コストや利便性では大阪港と遜色なく利用ができた
- ただし、冬場ではトランシップにより2週間ほどの遅延が発生したため、輸送を断念した
- 今後は時間に余裕がある貨物の利用を検討したい

敦賀港を利用したら

輸送ルート
の
選択肢が
増えた

大阪港から転換



マルイチセーリング株式会社

家具用パーツの輸入で敦賀港をトライアル利用

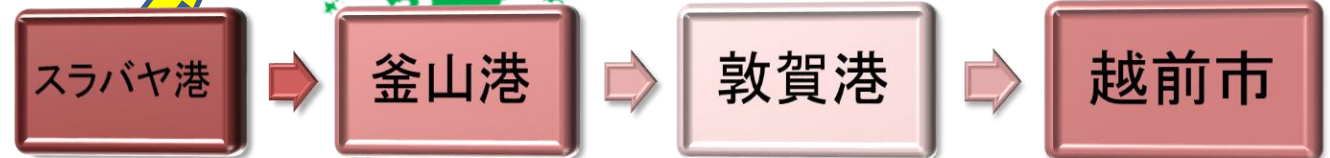
トライアル実施企業からの
コメント

- 韓国への輸出で利用実績はあったが、新たな取引で敦賀港の利用が拡大した
- コストや輸送品質に関しては主要港と比べても遜色ない。国内についてのスピードが速く利便性が高い
- リードタイムがトランシップのため長くなること、遅延の可能性があることが懸念材料である
- 福井県内の企業として敦賀港利用を第一に考え、状況に応じて主要港と併用していきたい
- 今回のトライアル制度の活用により、BCP対策としての複線ルート確保ができた

敦賀港を利用したら

国内輸送が
スピーディーで
CO2削減にも
貢献できた

新規貨物



C社様

雑貨の輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 令和5年度にもトライアルを利用した。今回は青島、プノンペンからの輸入で名古屋港および金沢港から敦賀港に転換
- 青島輸入便の運賃変動が激しく敦賀港を利用したほうがコストが下がった時期があった
- 青島からの輸入については継続利用が検討できる
- プノンペン輸入に関しては空コンテナの確保とリードタイムの不安定さを考えると、継続的な利用は難しい

敦賀港を利用したら

・航路の選択肢
が増えた！
・HDL並みの
サービスが可能
だった！



D 社様

パレット、トレーの輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 上海、寧波からの輸入で名古屋港から敦賀港に転換
- 輸送コストは名古屋港に比べ約 65 % となるため、積極的な利用検討をしたい
- ただし、トライアル利用時もリードタイムの不安定さと釜山トランシップの不便さが顕著に現れ、利用を考えていた貨物も利用できなかったことがある
- 今後の利用は納期と相談しながら名古屋港と敦賀港を併用していきたい



E 社様

ウレタンゴムの輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 韓国からの輸入で名古屋港から敦賀港に転換
- BCP利用ルート策定を目的として敦賀港を利用
- コスト増ではあったが、CY待機時間が短く、BCP対策港として十分機能すると社内で判断した
- 今後、岐阜拠点への輸出入貨物についても、敦賀港の利用を積極的に社内で検討している

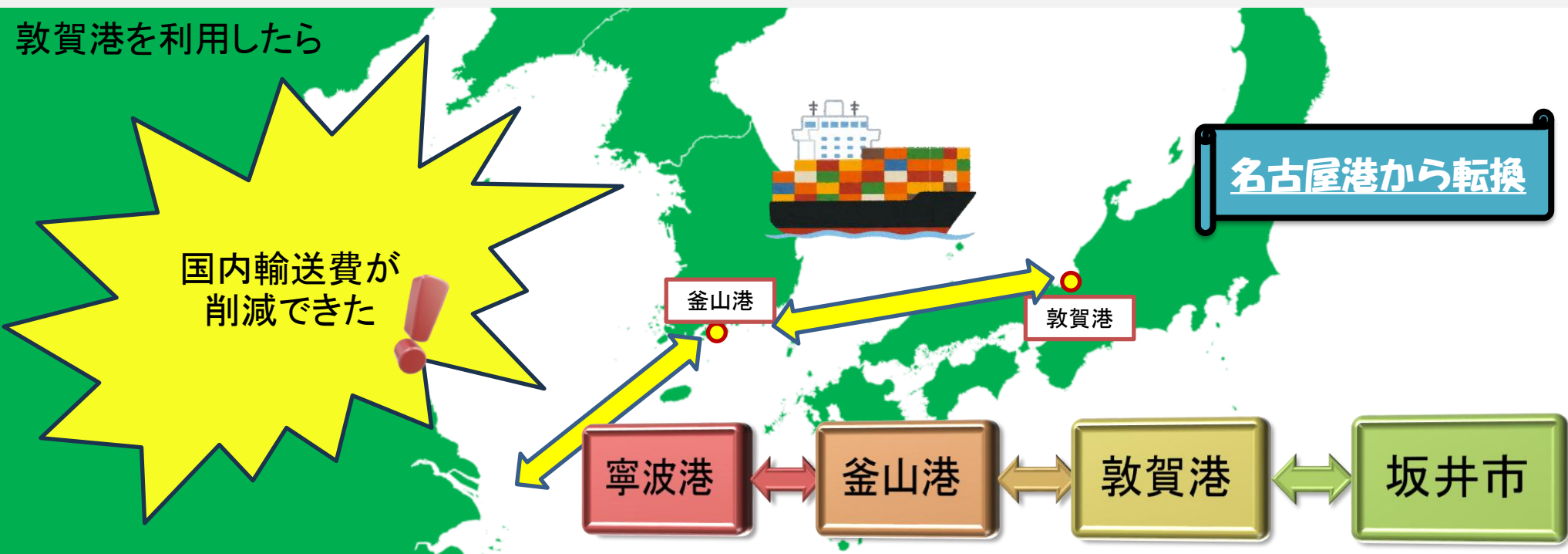


第一ビニール株式会社様

エクステリア用品の輸出入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 寧波との輸出入で名古屋港から敦賀港に転換
- 海上輸送サーチャージ料が安くコスト削減が図られた
- リードタイムが名古屋港より1週間以上増加し、遅延も多くスケジュールの不安定さが目立った
- リードタイムが改善されれば利用量は増加するため、航路増便や直行航路の就航を望む



G社様

アルミの輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 韓国からの輸入で金沢港から敦賀港に転換
- 国内輸送費が削減され、以前よりも陸送距離が半分になったことでCO2排出量も1/2となった
- 冬場の大雪でトラブルが起きた際も敦賀港では適切な対処をもらった
- 内航航路でも利用しており、継続的に敦賀港の利用を予定している



株式会社モ力様

家具の輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- ベラワンからの輸入で名古屋港から敦賀港に転換
- 海上運賃に差はないが国内輸送費と助成金のおかげでメリットがある
- リードタイムも主要港と比較すると長くなるが、出荷を調整することで十分対応可能
- 主要港ではサイバー攻撃などのリスクが発生しているため、敦賀港を利用することでリスク分散やBCPの観点からメリットがある
- 今後も敦賀港を継続的に利用していきたい



Ⅰ 社様

原反の輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- マレーシアからの輸入で金沢港から敦賀港に転換
- 輸送コストは特に変化はなかった
- トライアル時には大きな問題はなかったが敦賀港寄港本船の数から遅延の可能性があるので、今後の利用の課題である
- 港利用の選択肢が増えたことでBCP対策として有意義なトライアルができた
- 今後も引き続き利用を検討したい

敦賀港を利用したら

輸送距離が
縮まりドライバー
拘束時間とCO2
の削減ができた



金沢港から転換

J 社様

資材の輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 青島からの輸入、南沙との輸出入で名古屋港から敦賀港に転換
- トータルコストではコスト削減効果が高く、非常にメリットを感じている
- ただし主要港と比較すると、海上運賃だけでは高く、リードタイムも長くなるため、貿易条件次第では Shipper の協力が不可欠 (Shipper 側は地方港を敬遠しがち)
- BCP 対策、CO2 削減の観点からも有意義なトライアル利用ができ、主要港と比べるとドレージの手配がしやすいメリットもあった

敦賀港を利用したら

国内輸送費が
削減できた！

名古屋港から転換



株式会社オクムラ様

スリッパの輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 上海からの輸入で大阪港から敦賀港に転換
- 大阪港と比較しトータル輸送コストは削減された
- リードタイムが伸びることは想定しており、大阪港と比較して長くなってしまったが想定の範囲内だった
- 緊急時の輸送手段の確保ができ、輸送コストの面ではメリットが出たため、社内で再度検証を行い継続利用を検討したい



L 社様

鉄鋼製品の輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 寧波からの輸入で敦賀港を利用
- 納入先に近い港を利用することで国内輸送費の削減ができた
- トランシップによるリスクやリードタイムの不安定さはあったが、出荷のタイミングを調整することにより最終の納期が遅れることはなかった
- 敦賀港を初めて利用したが、すべてにおいて問題なく輸送できた、継続利用を検討したい



M社様

資材の輸入で敦賀港をトライアル利用

トライアル実施企業からの
コメント

- 天津港からの輸入で大阪港から敦賀港に転換
- 納入先に近い港を利用することで国内輸送費がかなり削減できた
- トランシップによるリードタイムの不安定さがあり、特に冬場は注意が必要だと思う
- トライアルの際、トランシップによるトラブルがあったため直行航路の就航を強く要望したい
- 敦賀港の対応には満足しており、継続利用を行いたい

